「グー チョキ パーの歌」

（シンガーソングライター趙 博さん作詞作曲）

校長　桑野 啓子

「グーチョキパーの歌」は、趙さんが２０１０年に作詞作曲し、ライブなどで「グーよりつよいのはパー、パーよりつよいのはチョキ、チョキよりつよいのはグー、みんなつよくて　みんなよわい」と歌ってきたそうです。この歌を知った大阪市内の小学校の先生が給食の時間に校内放送で「グー チョキ パーの歌」を流されたことをきっかけに、絵本作家さんが絵本を出版されたと新聞記事にありました。私たちはそれぞれに強みや苦手があります。だれひとりとして、同じ人はいません。自分のまわりの一人ひとりを大切に思うことは、自分も大切にされることになると考えます。この歌にであったことで、改めて一人ひとりが互いの違いを認め合い、すべてのみんなが過ごしやすい学級であり、学年であり、学園でありたいという願いが一層強くなりました。

昨年から始まった新しい生活様式がずっと続いています。ときにはたまったストレスのせいなのか、他者に攻撃的になったりするニュースにであうこともあります。しかしあらゆることを「自分ごと」として想像力を働かせると、相手にどんな言葉かけをしたらよいのか、どう行動すればよいのかが見えてくるのではないかと思います。と言いましても、もっとこう言えばよかったとか、もっとこう動けばよかったと反省することも多々ある日々ですが、ひとりではないから我慢も続けることができるように思いますし、互いに励ましあえるからこそ元気がわくと思います。応援の声は、相手に届くことも、届かないこともありますが、我慢しているとき、苦しいときやつらいとき、困ったときに、背後からふいに聞こえた声に自分は励まされるように思います。すると今度は自分がだれかを応援したい気持ちになるのではないでしょうか。

６月まで様々な制限が続き、予定が変更になり、我慢の日々が今も続いています。しかし保護者のみなさんのご理解とご協力のおかげさまで、子どもたちと私たち教職員が７月を迎えることができました。登下校の見守りに保護者のみなさん、地域の方々のお力もおかりしています。オンライン個人懇談では、１学期のお子さんのがんばり等について共有させていただいております。過日「彩都フェス」の工夫についてお知らせしました。みんなで力をあわせる取組として、学級や学年で「彩都フェス」での役割分担をどうしていくか等の相談を早速始めています。また学園ブログにて紹介させていただいておりますが、「９年プロジェクト」での９年・１年の異学年交流、「つながりストラップ」を４年代表委員会が１年生に配布する異学年交流、体育委員会による放送朝礼用「スポーツテスト」動画作成、代表委員会が企画した全校「募金活動」等、子どもたち発信の様々な取組が多く、子どもたちから元気をもらいました。１５０５名のすべての子どもたちが安心して笑顔で過ごせる学園生活でありますよう、教職員みんなで力をあわせて参ります。１学期最後まで、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。